



令和 5 年 1 2 月 1 6 日

救急出場件数及び119番通報受付件数が過去最多を更新

令和5年中の東京消防庁救急隊の出場件数は12月15日に873,115件（速報値）となり、これまでの年間最多である令和4年の出場件数（872,075件）を更新し過去最多を記録しました。

このペースで救急出場件数が増加すると、年間出場件数が90万件を超えることが予想されます。

また、119番通報の受付件数も、この12月に過去最多を更新しました。

年末年始は、救急車の出場が一年の中で最も多くなる時季の一つです。真に救急車を必要としている方が利用できるよう、救急車の適時・適切な利用をお願いします。

1 更新した件数等

	救急出場件数	119番通報受付件数
本年の件数 （速報値）	873,115 件 （12月15日現在）	1,050,450 件 （12月15日現在）
更新日	令和5年12月15日	令和5年12月11日
過去最多件数	872,075 件 （令和4年）	1,036,645 件 （令和4年）
対前年比 （昨年同日）	+44,544 件 （12月15日現在）	+61,882 件 （12月15日現在）
統計開始年	昭和11年	平成26年（現方式）

2 各件数が増加した要因

新型コロナやインフルエンザの流行に伴う発熱の救急要請や、行動制限の解除に影響すると考えられる要請（交通事故、飲酒事故等）などが多く見られました。

3 都民の皆さまへの呼びかけ

- 救急出場件数が増えると、遠方の救急車が出場する確率が高まるため現場への到着時間が遅れてしまい、救える命が救えなくなる恐れがあります。

- 真に救急車を必要としている方が利用できるよう、#7119（救急相談センター）の活用など、救急車の適時・適切な利用にご協力をお願いします。
なお、#7119（救急相談センター）は、相談員及び回線数を増強し、受付体制を強化しています。
- 救急通報をする時は一つの電話でかけ続けてください。一つのけがや病気に複数の電話機から通報すると回線が混みあってしまい、受付の確認作業にも時間を要してしまいます。
- 不要不急の電話については、最後までお話を聞かずに切断する場合があります。他の緊急通報を優先するための措置ですので、ご理解をお願いします。
- 年末年始は、忘年会や新年会などにおける急性アルコール中毒が増加傾向となります。短時間に多量の飲酒をすることは控えるようお願いします。
また、餅をのどに詰まらせたことによる窒息事故も発生しています。餅は小さく切って食べやすい大きさにするなど、事故防止に配慮するようお願いします。

4 その他

救急車の適時・適切な利用の詳細については、東京消防庁ホームページをご参照ください。



東京消防庁HP

問合せ先

〔 東京消防庁(代) 電話 03-3212-2111
広報課報道係 内線 2345～2350 〕